

第2回徳島県いじめ問題等対策審議会の議事内容について

第2回 徳島県いじめ問題等対策審議会の議事内容について

日 時	令和2年9月23日(水) 午後2時から午後4時まで
場 所	県庁10階 大会議室
会次第	1 開 会 委員15名中12名出席
	2 協 議
	(1)いじめ問題等対策検討部会からの報告について
	(2)いじめの重大事態対応チェックシートについて
	(3)未然防止について
	3 閉 会

協議内容

(1)第1回検討部会(8月19日開催)の報告について

- ・いじめの重大事態が発生した際に、迅速かつ丁寧に対応ができるよう、いじめの重大事態対応のチェックシート等を作成する。
- ・いじめの重大事態の未然防止にも触れるような内容の資料とする。
- ・配付対象は、教育委員会及び各学校の管理職、生徒指導担当教員を考えている。

(2)いじめの重大事態対応チェックシートについて

【必要性に対する意見】

- ・重大事案発生時には、教員も動揺すると思う。チェックシートがあれば、冷静な視点で見ることができる。
- ・教員間で意識の差があってはいけない。チェックシートがあれば安心して確認できる。また、教員同士でも確認し合える。
- ・「徳島県スクールカウンセラー」のなかには「緊急支援チーム」があり、依頼があれば派遣できる。事案発生時には、子ども、保護者、教員にも何かの影響がでる。チェックシートがあれば、学校側と相談しながら臨機応変に対応できる。

【内容に関する意見】

- ・重大事態が発生した際、他の児童生徒、保護者等には、いつ、どのような内容で伝えるか等慎重にならなければいけない。
- ・不登校の事案には、その背景に暴行や恐喝がある場合も考えられる。警察が積極的にかつ臨機応変に関与すべきケースもあり、警察連絡の項目をチェックシートに入れるとよい。早期対応ができれば、1号事案に発展する前に対応できる。
- ・スクールカウンセラーに相談する機会も多いと思われる。外部の方が冷静な視点で関わっていただけるとは非常に助かる。

(3)未然防止について

- ・平時から教員がしっかりといじめの定義への理解や未然防止の意識を持つことが重要である。
- ・未然防止が一番であり、些細なことも学年や組織での対応が重要。チェックシートは誰もが同じレベルで使えるものにとよい。
- ・チェックシート等を使うような事態にならないよう、審議会が過去に作成したリーフレット等を活用しながら予防策に取り組む必要があるのではないか。

今後の予定

- ・ 12月 第2回いじめ問題等対策検討部会
- ・ 1月 第3回いじめ問題等対策審議会